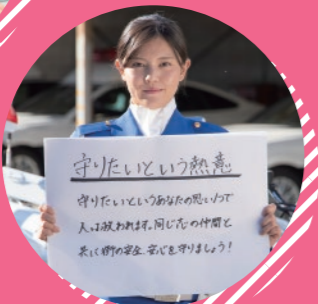
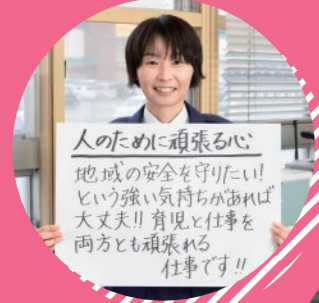
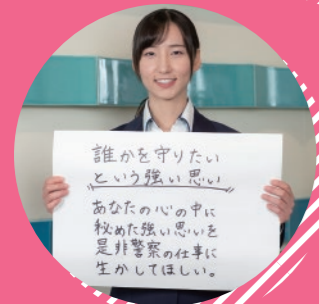
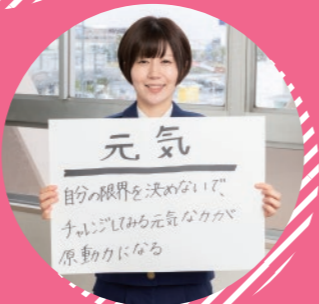


f Police

Female Police Officer Life Magazine
現役女性警察官の“生き方”を写したマガジン

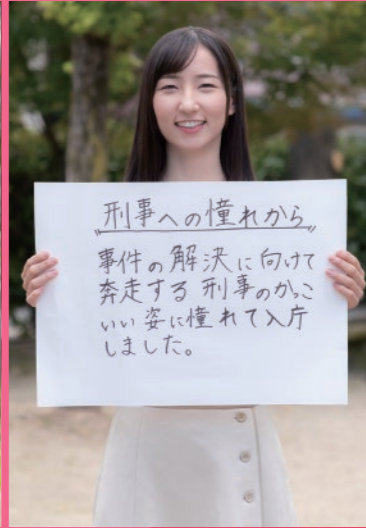
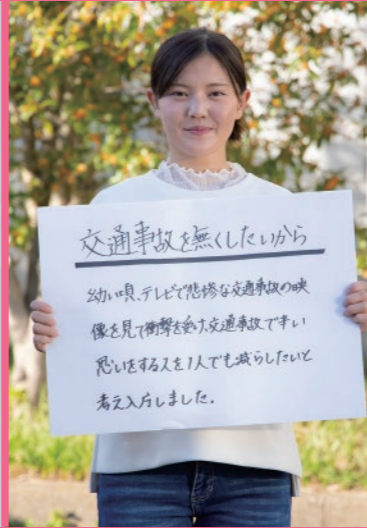
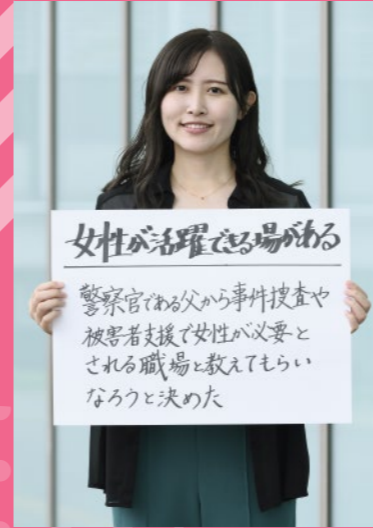
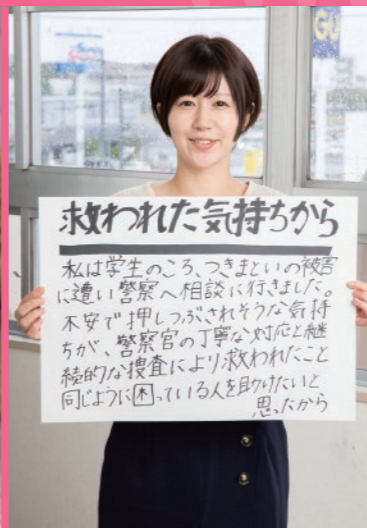


あなたの
○○を
私は待ってる



○○から、
わたしはこの道で
生きていく

きっかけは自由、女性警察官募集



都道府県警察官
採用案内



全国警察官採用案内
公式LINEアカウント



警察官になったきっかけはいろいろ あなたの“想い”からはじめよう

世の中にあふれる多くの仕事。自分にはどんな仕事に向いているのか…みんな悩みますよね。その中で「警察官の仕事」ってどんなイメージを持ちますか？

このパンフレットでは、今まさに活躍する現役の女性警察官に「警察官になったきっかけ」をはじめ、仕事のリアルとホンネを語っていただきました。今回インタビューした全国12名の女性警察官たちも、それぞれが色々な想いをもって警察官になり、日々仕事に打ち込んでいます。

そんな等身大の彼女たちによるヒューマンストーリーは、きっと仕事探しに悩むアナタの一助となるはず。それではお楽しみください。

警察官のイメージって？

刑事ドラマや警察ドキュメンタリーで描かれるとおり、警察官といえば、弱きを助け悪を挫く正義のヒーローといったイメージがあると思います。ですが、その反面「厳しそう」「堅そう」「大変そう」など漠然とした印象を抱いていたり、当直などの夜勤もあって勤務時間が不規則そうだし、男性が多い職場で女性が働くのは大変かも…と思っている人も多いのではないのでしょうか。

イマドキの警察官って実は！

実は、イマドキの警察官の働き方は、ズバリ「ホワイト」なのです！交替制勤務でも基本は当直→非番→休日となり、当直の日でも仮眠や休憩の時間があります。緊急の対応を要する時以外では、大きな負担がかかるといったケースは少なく、今回取材を受けた女性警察官も皆が働きやすい環境だと語っています。イマドキの警察は、すべての職員が安心して働ける環境づくりを進めていて、勤務環境は大きく変わっているのです。



女性が働きやすい 仕組みを整えています

警察官=男性の仕事というイメージが強いですが、女性警察官も増えており、今や全警察官の10%を超える職員が女性です。警部以上に昇任した女性警察官も増え、女性の警察署長も誕生するなどキャリアアップを叶えられる環境なのです。プライベートとキャリアの両立ができる警察の仕事に、気負わずチャレンジしてみたいかがでしょうか？

私が私であるために 3つの安心

01 給与
キャリア

02 福利厚生

03 教育制度

充実の給与とキャリアがあなたに

大卒 約200,000円以上
高卒 約170,000円以上
(一律地域手当含む)

※職種や都道府県警察によって異なりますので、詳細は各都道府県警察採用HP等をご確認ください。

警察官の給与は基本給に加え、通勤手当、扶養手当など様々な手当が条件により支給されます。特に警察官の仕事は、その特殊性から様々な特殊勤務手当が支給されます。また、基本的に年2回のボーナス支給や年1回の昇給もあります。



キャリアについて

警察官は、自分の努力次第で誰もが平等にキャリアアップできます。全国の女性警察官も様々な仕事を体験しながら理想の将来像を描いています。気になることは、各地の説明会で何でも質問してください。

年度	H25	H26	R3	R4
警部以上の女性警察官(人)	234	261	672	738

多様な活躍分野

①警察学校を卒業、まずは交番から ②個々の適性を踏まえて、様々な分野で活躍



階級制度



充実の福利厚生



実は福利厚生がこんなにも充実しているんです！



すべての職員が健康でゆとりある暮らしを実現するため、福利厚生の充実に力を入れています。健康面では定期健康診断の実施や各種保険制度などにより職員をサポート。さらには、独身寮や家族寮などの住環境が整備されているほか、警察共済組合提携施設等の割引価格での利用や生活設計の支援、各種資格取得の助成制度といったサポートもあり、安心して仕事に打ち込める環境を整えています。

基礎実務は警察学校で体得



採用後は、全員警察学校に入校します。警察学校では基礎体力訓練や逮捕術などの訓練のほか、憲法や刑法などの法学、警察官としての実務知識・技能を習得します。必要な知識・技能はすべて警察学校で習得しますので、体力に不安があったり法学知識がなくても、心配いりません。

妊娠・出産・育児も安心の制度

妊娠・出産・育児と仕事の両立を図る職員へのサポートを実施。結婚休暇や最長3年の育児休業に加え、時短・時差勤務制度など、ライフスタイルに合わせた勤務ができるように各種支援を実施しています。また、育児休業から復帰後の研修なども充実。復帰時には本人の意向も考慮しています。



詳しくはP5警察学校ページへ→

詳しくはP12育児との両立ページへ→

「警察官」になってみて… 白バイから見守る 地域の安全と安心

山形県警察本部交通部交通機動隊 巡査 2017年採用

仲間と励まし合った警察学校 不安よりも期待の交番勤務

白バイ隊員に憧れて警察官を志望しましたが、身長152cmという小柄さと体力に不安がありました。警察学校での体力作りは辛くもりましたが、同期の仲間と励まし合い乗り越えた経験が、今の自信につながっています。警察学校を卒業し、交番での勤務となった当初は不安よりも、わくわく感の方が大きかったです。格好良さに憧れて選んだ警察官という仕事でしたが、交番勤務を通じ、地域に密着し住民に寄り添う誇らしい仕事であることに改めて気付かされました。

そして憧れの白バイ隊員に… その仕事はみんなを守ること

夢であった白バイ隊員になれた時は、努力が評価されたと感じ、とてもうれしかったです。現在は、交通事故の対応や事故防止PR、駅伝の先導など多岐に渡る業務に携わるほか、後輩を指導する立場にもなり、仕事を通じて視野や見聞が広がっていると感じます。「警察官として仕事する」ことは、高いハードルを感じるかもしれませんが、自分次第で夢を叶えられる環境が整っています。警察官の仕事に興味のある方は、自信を持って飛び込んでください。



チャレンジを恐れずに やる気があれば夢は叶う！

数多くの尊敬できる先輩の存在がモチベーションにつながりました。また、努力が正当に評価されるので、やりがいも大きいです。私も今は「誰かの目標になりたい」と挑戦しています。強い気持ちを持ったあなたの応募を待っています！夢はきっと叶いますよ。



同期の仲間が待ってる！ 警察学校での日々



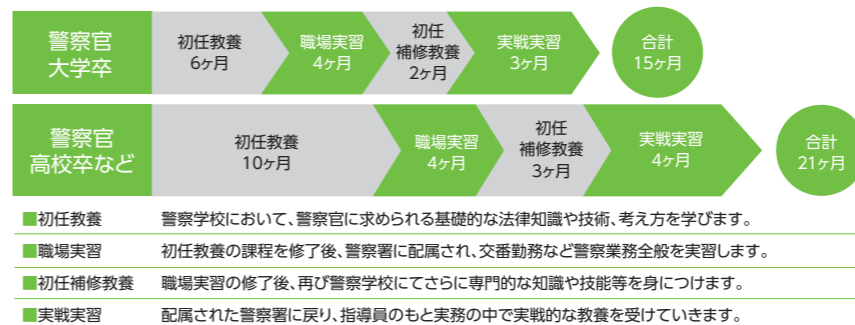
警察学校での一日

- 6:30 起床
点呼・清掃・ランニング・朝食
- 8:50 1時限目
- 10:20 2時限目
- 11:40 昼食
- 12:40 3時限目
- 14:10 4時限目
- 15:40 5時限目
- 17:15 清掃・自主トレーニング
- 19:00 夕食・自由時間・自習時間
- 23:00 就寝

※各都道府県警察学校により内容が異なります

スタートラインはみんな同じ！

採用後は全員が警察学校に入校します。大卒者は6ヶ月間、大卒以外は10ヶ月間にわたって全寮制で規則正しい生活を送りながら警察官に必要な知識や技能を学び、体力や精神力、チームワークを身につけます。



警察官として専門的な教育や訓練を受けるほか、地域との交流も積極的に行っています。 ※岡山県警察学校での例です。

こんな授業があります

ミニ広報紙の授業です。警察は、地域住民の方への情報発信が必要不可欠です。分かりやすく情報を伝えられるように、試行錯誤を重ね作成します。優秀作品には表彰もありますよ。

巡回連絡の授業です。教官が地域住民役として模擬訓練を行います。学生は、警察活動に対する要望や非常時の連絡先などの聴取、住民に必要な情報提供を行う訓練を繰り返して、警察官として必要な能力を身につけます。

教官からのメッセージ



愛情を持って全力でサポートします
岡山県警察学校
教官

警察学校というと、男性ばかりで体力などに不安を感じる女性がいるかもしれませんが、学校にいる女性教官は、学生の相談に乗りながら一人前の警察官になるためのサポートを行います！

先輩から見た警察学校

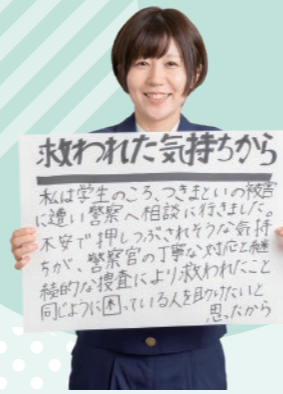


同期の仲間と一緒に
どんな困難も乗り越えられます
岡山県警察学校
初任科生

始めは慣れない生活に戸惑うこともありますが、同期の仲間との生活はとても楽しく、お互いに切磋琢磨しながら困難も乗り越えていくことができます。一緒に頑張りましょう！

私は救われた気持ちから 地域に元気と安心を

新潟県江南警察署地域課 巡査長 2018年採用



救われた気持ちから
私は学生のころ、つきまといの被害に遭い警察へ相談に行きました。不安が押しつぶされそうな気持ちで、警察官の丁寧な対応と継続的な捜査により救われたこと、同じように困っている人を助けていこうと思ふようになりました。

被害者等に寄り添える 女性警察官の存在意義

被害に遭われた女性や子ども、お年寄り、動揺を隠せないことが多いです。女性ならではの視点による対応で安心させ落ち着いてもらうことが、その後の捜査協力につながると考えています。誠実に接することで信頼してもらい、地域に元気を与えられる存在になりたいと日々奮闘しています。



SCENE 巡回連絡や事件事故対応など地域の安全安心を守る交番の警察官は、地域住民との距離も近いので、頼りにされていると感じますね。

私の一日

ある1日のスケジュールです。

- 7:00 起床
- 9:00 勤務交代
- 12:00 パトロール後に昼食
- 13:00 交番で来訪者対応等
- 18:00 夕食
- 21:00 パトロール
- 2:00 仮眠
- 7:00 見守り活動
- 9:00 勤務終了

※上記はあくまで一例です。

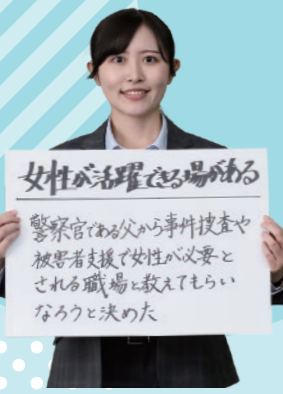


趣味のカフェ巡り

体を動かすことが好きで、仲間とバレーボールするなど気分をリフレッシュするようにしています。他にはおしゃれなカフェ巡りも大好きです。ちょっと日常から離れて美味しいドリンクと食事を楽しむことが癒やしの一時です。

私は女性の活躍の場があるから 頼られる存在であるために

岐阜県警察本部生活安全部人身安全対策課 巡査 2017年採用



女性が活躍の場がある
警察官は父からの事件捜査や被害者支援で女性が必要とされる職場に教えてもらいながら決めた。

女性が活躍できると感じ 憧れから職業に

幼い頃から、警察官である父親の正義感あふれる姿を見て育ちました。事件捜査や被害者支援において、女性ならではの感性が活かされると感じ、警察官を目指しました。警察官採用試験に合格した時は、家族全員が喜んでくれ、うれしかったことを覚えています。今はDVやストーカー、児童虐待事案等の初動捜査を支援する係で勤務しています。



SCENE 高校卒業と同時に岐阜県警察採用。交番勤務等を経て人身安全対策課初動支援係へ。事案発生時の現場対応や被害者のケアなど広範囲に対応しています。

他部署と協力して 命を守るため最善を尽くす

人身安全関連事案は、一歩間違えると命の危険につながりかねませんので、初動の段階から他部署と連携を図り様々な事案に対応しています。命を守る最優先の策を常に考えています。感謝の言葉をかけていただける機会も多く、そのような時はうれしい限りです。



SCENE 女性や子どもが被害者になるケースが多いため、女性警察官の存在は重要です。そのような被害者の対応には保護対策を第一に考えています。

私の一日

ある1日のスケジュールです。

- 6:30 起床
- 8:30 出勤・引き継ぎ
- 9:30 行方不明者検索・保護など
- 12:00 昼休憩
- 13:00 ストーカー保護対策など
- 15:00 DV事案対応など
- 17:15 勤務終了
- 19:00 夕食
- 23:00 就寝

※上記はあくまで一例です。

コミュニケーションに自信が なかった私を変えてくれた

警察官になったばかりの頃は、被害者から上手に話を聞き出せず、コミュニケーション能力に自信がありませんでした。しかし、様々な経験を重ねるうちにパニックに陥っている被害者からでも話を聞くことができるようになり、コミュニケーション能力の向上を感じています。これからも被害者に寄り添ったコミュニケーションを心掛けたいです。



SCENE 今後は、より多くの捜査に携わることで「あなたに対応してもらってよかった。」と言われてもらえるような存在になりたいです。



愛犬と公園で散歩

休日は愛犬と遊ぶことが多いです。愛犬と戯れているとストレスがなくなります。また、同期と食事やショッピングに行ったり、スポーツなどで体を動かしてON/OFFの切替をしています。

自らの被害経験から 警察官への道を選択

私が警察官を志したきっかけは、大学時代のつきまとい被害です。その時対応してくれた警察官達がとても親身で頼もしく見え、私も誰かの役に立てるこんな仕事がしたいと思い警察官になりました。この経験から現在の交番勤務でも、助けを求める女性等の支えになるよう心掛けています。



SCENE 私自身が被害にあった経験から警察官になろうと決めた背景もあり、被害者や相談者の気持ちに寄り添うようにしています。

子どもや女性に身近な お巡りさんであるために

現在は、交番勤務員としてパトロールや事件・事故の初動捜査等を行っています。非常に地域に密着した業務であり、生活に関連した相談等の対応後に感謝されたり、子ども達から敬礼されたりするとうれしく感じますし、もっと頑張ろうとやる気が出ます。

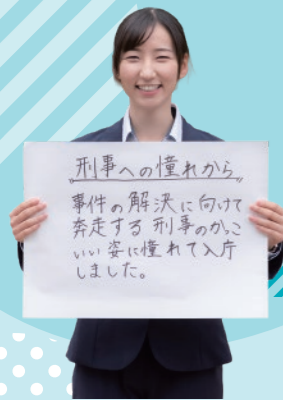


SCENE 女性ならではの気配りや心遣いなどが求められるケースも多いので、先輩からアドバイスをもらい、より安心感を与えられるように努めています。

ON

ON

OFF



私は刑事への憧れから 刑事として安心できる町づくりへ

徳島県阿南警察署刑事課 巡査長 2014年採用

刑事の仕事

同期と共にスタートした 警察官生活

私が警察官を目指したきっかけは少し変わっていて、中学生の頃、陸上部監督に「あなたは警察官に向いている」と勧められ警察官を意識し始めました。高校生になって警察官になりたいという想いを深め、採用試験に臨み合格、18名の同期と出会いました。私が警察官になったことを家族も喜んでくれましたね。



事件検挙のためにチーム一丸となって奔走する姿を見て私も刑事になりたいと思い、交番勤務を経て念願の刑事になりました!

イメージよりも多様な 警察官という仕事

警察学校卒業後、交番勤務でまず思ったことは「こんなに色々な事案があるのか」ということでした。事件はもちろん、阿波踊りの警備や迷子対応など生活のあらゆる場面に警察は関わっており、驚きの連続でした。その後、今の刑事課に異動し、違法薬物や銃器などの取締りに当たっています。



取調べは刑事の真価が問われます。難事件の被疑者と対峙することもあります。粘り強く事件の真相を明らかにしていきます。

私の一日

ある1日のスケジュールです。

- 6:30 起床
- 8:30 出勤・事件捜査
- 12:00 昼休憩
- 13:00 事件捜査
- 15:00 事件発生で現場臨場
- 17:15 勤務終了
- 19:00 夕食
- 22:00 就寝

※上記はあくまで一例です。

チームで取り組み、 事件を解決するやりがい

警察官になる前は、犯人を捕まえればいいという考えでしたが、いざ現場に立つと、検挙のために多様な専門知識を習熟することの重要さや「まずは事件を抑止する」ことの大切さを痛感するようになりました。仲間と取り組んで事件を解決したときは達成感がありますし、被害者からの「ありがとう」は私の宝物です。



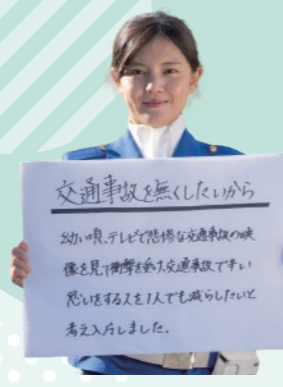
想像していたよりも仕事の幅が広く、刑事になってからは特殊詐欺や暴力団関係、薬物銃器の事件捜査を担当しています。

OFF



趣味のバドミントン

大好きなテーマパークや景勝地を見て回ることでリフレッシュしています。また、バドミントンサークルに週1回通っています。身体を動かしてみんなで楽しむのが好きですね。



私は交通事故を無くしたいから 地域の交通安全のために

奈良県警察本部交通部交通機動隊 巡査長 2016年採用

交通の仕事

白バイ隊員として事故で 失われる命を守りたい

幼いころから習っていた空手で、「誰かを守ること」の大切さを学びました。交通事故で失われる命を守りたい、それが白バイ隊員を目指して警察官採用試験を受験した理由です。採用試験に合格した時は、家族みんなが喜んでくれました。



危険を伴う仕事なので技術の向上は欠かせません。訓練は厳しいですが、現在は日本中で多くの女性白バイ隊員が活躍しています。

毎日の白バイ特訓で目指す 全国大会

毎年「全国白バイ安全運転競技大会」が開催され、各都道府県警察の代表がその技術を競っています。私は奈良県警察の女性代表として、この大会での入賞に向けて毎日特訓しています。ここで培った技術を交通事故の抑止など、交通安全のために役立てていきます。



白バイは約300kg(リ)ありますが、コツさえ掴めば小柄な女性でも起き上がらせることができます。走れば走るほど愛着が湧いてきます。

私の一日

ある1日のスケジュールです。

- 5:00 起床・愛犬の散歩
- 8:30 始業・業務連絡
- 9:00 出勤・パトロール・訓練
- 12:00 昼休憩
- 13:00 出勤・パトロール・訓練
- 17:15 白バイ洗車、勤務終了
- 20:00 夕食
- 22:00 就寝

※上記はあくまで一例です。

交通事故の絶無のため 交通取締りの心構え

交通違反の取締りの場面では、違反事実やその危険性を冷静に伝えるように心がけています。違反や危険性に気付いていないドライバーも多く、私の説明を受けて「事故にならなくてよかった」と違反による危険性を理解してもらえたときは、交通警察官として大きなやりがいを感じます。



白バイ乗務中は、常に緊張感を保つとともに、ひとつひとつの行動に責任感を持つことを意識しています。

OFF

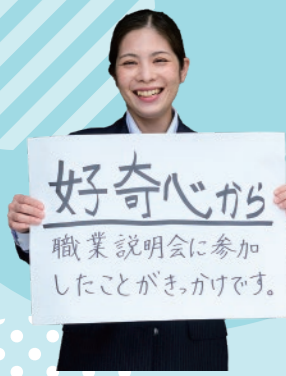


愛犬と過ごす癒やしの ひととき!

休みの日は、愛犬と自然豊かなところに散歩に出かけます。ニコニコと駆け回る姿に癒やされています。

私は好奇心から 児童養護施設勤務から警護へ

沖縄県警察本部警備部警備第二課 巡査部長 2014年採用



就職説明会での出会い

子どもを守りたいという想い

以前は児童養護施設で働いていました。再就職を考えた際に採用説明会で出会った、国内外の要人の身辺を守る「警護」員に憧れたことが率直な理由です。また、児童養護施設勤務では対応できなかった事案も警察官になればできるのでは…という思いもありました。人を、子どもを守る仕事がしたいと思い採用試験を受験しました。



前職を退職した後、採用説明会に参加した際にいた警護員の姿がとても格好良く、26歳のときに警察官になろうと決めました!

仲間と助け合い警察学校卒業

交番勤務から要人警護の道へ

体力に自信はありませんでしたが、警察学校で仲間と励まし合いながら訓練に臨んだことが思い出深いです。交番勤務は思っていたよりも多様な事案があり、今まで過ごしてきた世界とは違うと驚きの連続でした。最前線で人助けに携われることにやりがいを感じましたね。



警護のやりがいには「何もなく終わること」。当たり前のように聞こえますがそのために全神経を注ぎますので、無事に終わると本当にホッとします。



私の一日

ある1日のスケジュールです。

- 5:00 起床
- 8:00 出勤・警護の連絡業務
- 12:00 昼休憩
- 13:00 現場、ルートの確認
- 15:00 計画書の作成など
- 16:45 勤務終了
- 19:00 帰宅・子どもにご飯
- 22:00 就寝

※上記はあくまで一例です。

事前調整・計画から当日まで

綿密な要人警護対応の日々

現在の仕事は、要人警護です。直前まで時間等が決まらないことも多い中、事前にルートや現地の確認を行い計画を立てます。当日は一瞬たりとも気を抜けません。これらの様々な経験は、自分自身の視野が広がり、成長できていると実感できます。



花形のイメージがありますが、実際は現地視察や日程・段取りなどの調整が多く、従事する全員の認識を一致させなければならぬなど難しい面がありますね。

OFF

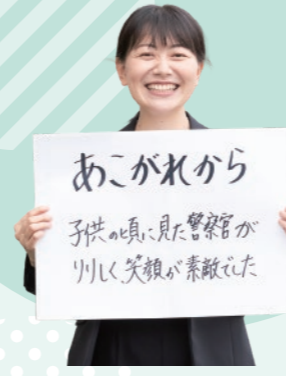


家族で休日デートIN 美ら海水族館

子どもと楽しく過ごしています! 後輩達にも、子育てしながらキャリアアップを目指せるんだという姿を今後も見せていける先輩になりたいですね。

私はあこがれから 市民に一番近い存在であるために

山形県山形警察署警務課 巡査長 2001年採用



きっかけは幼稚園の時の憧れ

祖母の後押しから警察官に

幼稚園児の時に交通安全教室に来てくれた警察官にあこがれたのが、きっかけでした。その後は将来を漠然としか考えていませんでしたが、高校の就職説明会に訪れた警察官を見て、昔の想いが甦りました。祖母からも「昔なりたがっていたね」と背中を押してもらったこともあり、警察官採用試験にチャレンジ!今に至っています。



私が採用された当時と比較しても女性職員が非常に増えました。女性同士のコミュニケーションも取りやすくなり働きやすい環境になりましたね。

住民が最も頼れる

相談窓口であるために

現在は、警察署で地域住民からの警察相談の窓口対応をしています。迷惑メールや家庭内トラブルなど事案は様々ですが、緊急を要する案件もありますので、常に気は抜けません。警察部内や関係機関と連携し、事件等に発展する前に解決できるように努めています。



警察官になるには特別な才能や体力が必要といったことはなく、人に寄り添う優しい気持ちが一番大切だと思います。



私の一日

ある1日のスケジュールです。

- 6:00 起床
- 8:30 出勤・窓口業務
- 12:00 昼休憩
- 13:00 関係機関との調整
- 17:15 勤務終了
- 18:00 夕飯・子どもとの時間
- 21:00 一人時間を楽しむ
- 22:00 就寝

※上記はあくまで一例です。

ワークライフバランスを

大切にできる

警察で働いていて一番感じることは「女性も安心して一生働ける」ことです。現在3人の育児をしていますが、公私ともにサポートが充実しており、安心して仕事に育児に取り組んでいます。採用同期の女性は、20年以上経った今でも全員が在職し、各分野で活躍しています。



これまでは、総務・警務部門での勤務が長いこともあり、今後は事件捜査にもチャレンジしていきたいですね。

OFF



3人の子どもと余暇を 楽しんでいます!

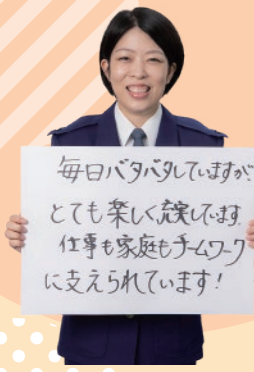
休日は、子ども達と公園でバドミントンをしたり、プールに行ったりと満喫しています。夫が育児をしてくれる間に趣味のミシン掛けをするなど充実した休日を過ごしています。

育児との両立

結婚しても、ママになっても

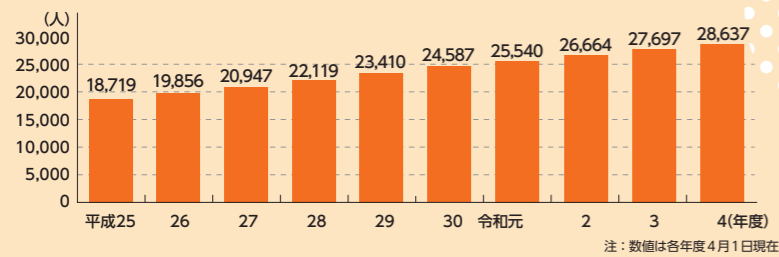
私の生き方を妥協しない

女性警察官の活躍の場が広がる今、妊娠中や育児中でも働きやすく、かつ、安心して仕事と家庭を両立できる環境づくりが推進されており、ここではその仕組みを紹介します。

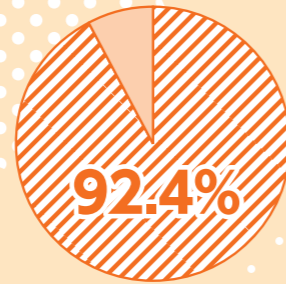


女性の警察官数も育児をする警察官も増えています

都道府県警察の女性警察官数の推移
(平成25年度～令和4年度)



9ヶ月超の長期に渡る
育児休業等を取得した女性職員の割合



女性警察官数は、10年前と比較すると1.5倍以上となったほか、全警察官に占める割合も10%を超えました。また、長期間の育児休業等も取得しやすく、9ヶ月超の育児休業等を取得した女性職員の割合は92%以上になります。

引用：「令和2年度地方公共団体の勤務条件等に関する調査結果」(総務省)

妊娠・出産・育児を支援する制度

※各都道府県警察により、支援制度は異なります。

01

ワークライフバランスの
推進に向け各種制度が充実

育児休業に加え、結婚休暇や育児中の時短勤務などワークライフバランス推進のための制度が多数！

02

妊娠時から休暇・
業務緩和が可能です

母体・胎児保護のための通勤緩和や超過勤務制限に加え、保健指導等の勤務免除といった制度も設けています。

03

子育て中も
最大限のケア

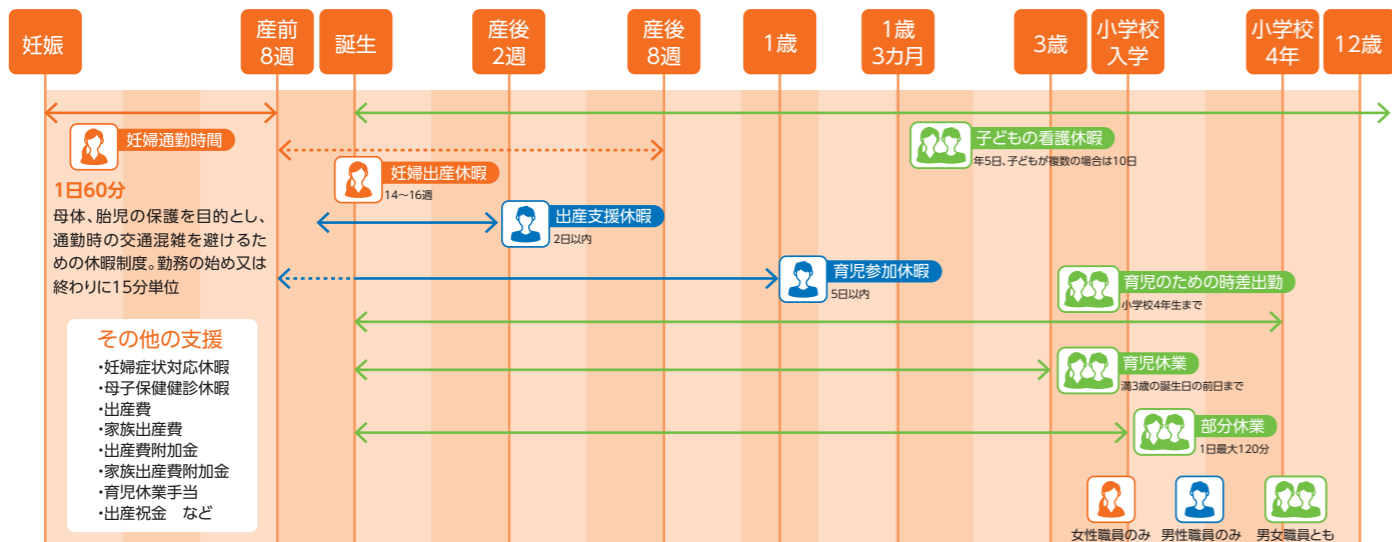
子どもの急な看病や保育園の送迎等も安心。時差出勤や子の看護休暇等も整えています。

04

仕事と家庭を両立する
仕組みを完備

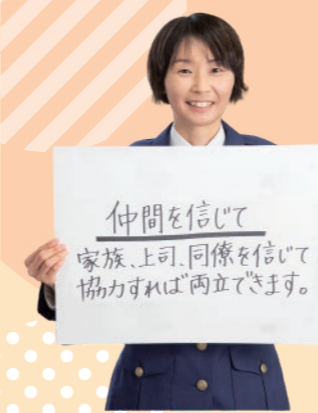
男性も使える両立支援制度が多数。男性職員も積極的に育児に参加できるようにしています。

妊娠・出産・育児に関する支援制度の例 ※各都道府県警察により、支援制度は異なります。



本当のところはどうなの？

育児を行う先輩に聞いてみた



「とはいえ、子育てと仕事の両立って大変そう…」[キャリアに影響するのでは…?]と思うかもしれませんが、このページでは、実際に子育てを行いながら仕事・キャリアを両立させている現職の女性警察官2名に、インタビューしてみました。

手厚い制度と「待ってたよ！」の仲間の声支えてくれた



新潟県五泉警察署地域課長 警部

助け合いの風土で子育ても自信を持って！

私は採用されてから2年後に結婚。3年後に第一子を出産、育休中に第二子も授かりました。合わせて3年の育児休業を取得したので、復帰の際は不安もありましたが、復帰直後の「待ってたよ!」という仲間の声にホッとしたことを今でも良く覚えています。復帰後、私は当直免除の制度を利用して仕事と育児を両立していますが、その他部分休業などの制度を活用することもできます。大事なことは素直に相談すること。相談すれば組織も同僚も必ず真摯に向き合ってくれます。今後も子どもに誇れる仕事を続けていきます。

私たちの子育て 育児支援で時間は十分！仕事に励みつつ、子どもの成長がリアルタイムで見られてうれしかったです



家族も職場もチームワーク！フルタイムでの働き方を選択

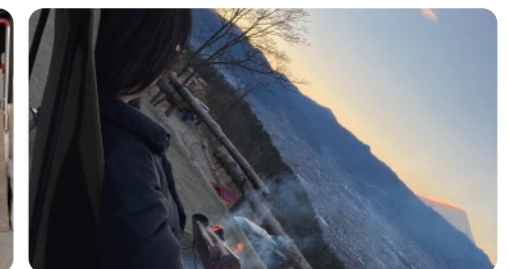


奈良県警察本部警務部警務課 警部補

仕事と3人の子育てに日々奮闘中

私は採用された後に3人の子どもを出産し、3回育休を取得しました。初めての育休復帰時は、保育園のお迎え時間に間に合うのか不安で、1年間早出勤制度を利用しました。制度を利用することで、安心して復帰することができ、仕事と育児のペースを掴むことが出来ました。現在は通常時間で勤務しています。毎日忙しいですが、仕事で感じる達成感や、子ども達の笑顔が、私の働くエネルギーとなっています。警察には、育児をフォローするための様々な制度があり、自分の働き方を選べるところが、とても魅力的だと思います。

私たちの子育て 家庭でも職場でもチームワークが大切！お互い助け合い、子育てと仕事を楽しむ！





自分を信じて夢を叶える

幹部へのキャリアを歩んだ女性警察官の仕事観と本音

岐阜県警察本部
刑事部
機動捜査隊長
西田 美乃里



キャリア

- 1987 岐阜県警察採用(10月)
- 1988 警察学校卒業後
岐阜中警察署地域課
- 1994 結婚
- 1997 出産、育児休業取得
- 1998 各務原警察署刑事課
(巡査部長昇任)
- 2003 岐阜北警察署刑事課
(警部補昇任)
- 2010 各務原警察署 地域課長
(警部昇任)
- 2013 岐阜北警察署 生活安全課長
- 2014 岐阜北警察署 刑事第一課長
- 2015 警察本部刑事部組織犯罪対策課
課長補佐
- 2017 岐阜南警察署 警務課長
- 2019 警察本部総務室広報県民課
広報官(警視昇任)
- 2020 各務原警察署 副署長
- 2021 警察本部刑事部管理官
- 2022 警察本部刑事部機動捜査隊長

チャレンジから 積み重ねたキャリア

短大2年生の時(1987年)、7年ぶりに女性警察官採用試験が行われることを知り、チャンス到来と受験しました。試験に合格した時は、念願が叶い本当にうれしかったです。採用後は交番勤務からスタートし、刑事課や被害者支援係での勤務を重ねて今に至ります。現在は、機動捜査隊長として初動捜査の指揮に当たり、多くの隊員をまとめ、事件の早期解決のため日々奮闘しています。自身のキャリアを振り返ると、新たな職域に挑戦し、結果を出すことで後進の道を開き、そして、岐阜県初の女性警部として部下を率いる立場になったことが大きなキャリアステップだったと思っています。周りの意見を傾聴し、被害者と共立することで学ぶことも多く、相手の立場に立った活動を心掛け、これからも女性活躍へのチャレンジを続けていきたいと思っています。

前を向いて行けば必ず 夢が実現する環境があります

採用当時と比較すると、女性の職域は広がったほか、育児休業等の制度も大きく変わり、結婚や出産を理由に退職する職員もほとんどいなくなりました。私自身、両立の大変さから退職を考えた時期もありましたが、苦難な時も前を向き、子育てを通じて学んだことが部下の個性を活かす教育や業務の合理化等につながっていると感ずることも多く、実践しています。また、県警の女性活躍プロジェクトのリーダーとして、いかに女性が活躍できるか、安心して働ける環境をどう整えるかを考え、様々な施策を考案した経験は今に大きく生きています。女性警察官・女性刑事が増え、必要とされる部署で活躍する姿は、頼もしく感じます。制度等を上手く活用し、かつチャレンジすることを恐れず、個性や能力をいかんなく発揮し活躍して欲しいです。



めざすあなたにエール

警察には、女性ならではのソフトな対応や感性が重要視される場面があり、皆さんの力を必要としている被害者の方が大勢います。また、社会貢献を実感できる職業です。失敗を恐れず、地域に必要とされる警察官を目指すチャレンジを待っています。一緒に地域の皆さんに安心してもらえる強い組織を作っていきましょう。

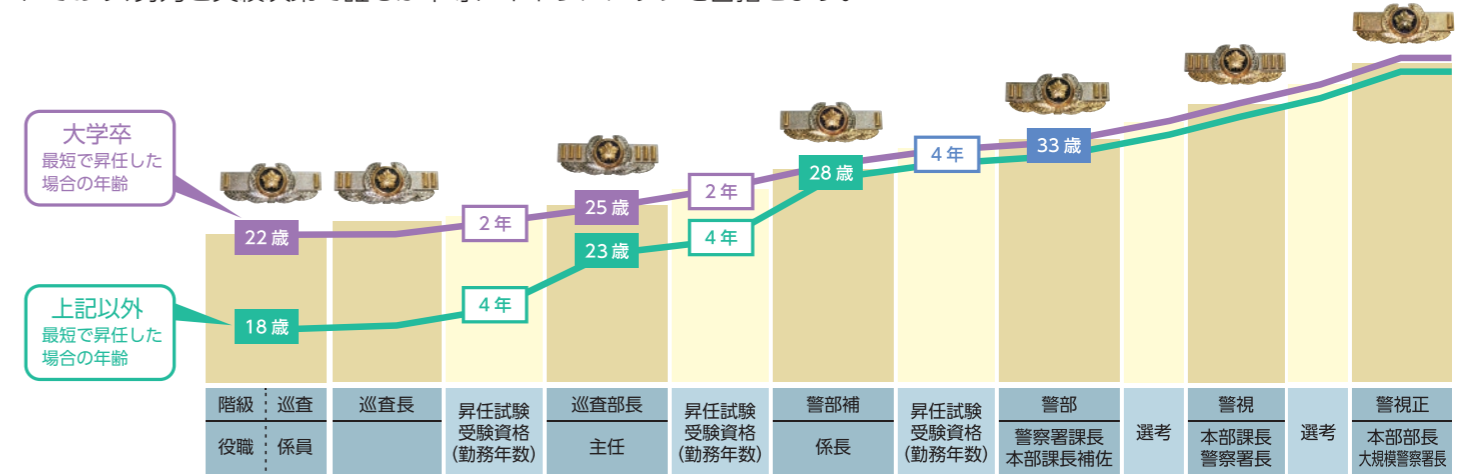


成長と継続のしくみ

長く続くキャリアのために

▶ 昇任制度:学歴・性別を問わず、平等に昇任の道が開かれています

採用試験に合格すると警察学校に入校して「巡査」からスタートします。大卒者は概ね2年、大卒以外の者は概ね4年で昇任試験を受験でき、巡査部長を経て警部補・警部・警視・警視正へと昇任できます。年齢や性別、学歴関係なく全員に昇任の道が開かれており、努力と実績次第で誰もが平等にキャリアアップを目指せます。



▶ 教育制度



警察学校における教養のほかにも、時代のニーズに応え、各専門分野のプロフェッショナルな警察官を養成するために多種多様な研修プログラムを用意しています。

▶ 休暇制度



年間20日間の年次休暇に加え夏季休暇や結婚休暇、産前産後休暇、子どもの看護休暇等の各種休暇制度が充実。ワークライフバランスを積極的に推進しています。

▶ 勤務体系



1週間当たりの勤務時間は38時間45分となり、8時30分から17時15分まで(一例)の日勤制勤務のほか、職種により当番・非番・週休を繰り返す交替制勤務があります。

▶ 福利厚生



健康で働きやすい職場であるために各種保険制度に加え、定期健康診断等も実施。さらに余暇の充実とリフレッシュのために警察共済組合が提携している全国各地のホテル・旅館、レジャー施設等や各種サービスを割引料金で利用できます。

▶ 職員宿舎



各地に家族住宅や独身寮を完備しており、快適な生活を送ることができます。

※各種制度は都道府県警察によって異なりますので、詳細は各都道府県警察HP等をご確認ください。